



# 1.目次

1	1.目次
	2.はじめに
	3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
2	4.取扱い上のご注意
	5.特長
3	6 什堪

- 4 7.各部の名称・説明
- 5 8.接続方法
- 6 9.切替方法•操作方法
- 7 10.切替器のカスタマイズ
- 10 11.トラブルシューティング
  - 免責
  - 保証規定
  - 保証書

# 2.はじめに

この度はディスプレイエミュレーション対応パソコン自動切替器SW-KVM2DUN(以後、本製品と表記)をお買い上げ いただき誠にありがとうございます。

本製品は、1組のUSBキーボード・USBマウス・DVIディスプレイ・スピーカーで2台のパソコンを切替えて使用するための 切替器です。本取扱説明書は、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意などについて説明するも のです。なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

## 3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

#### ■警告:下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

●分解、改造はしないでください。(火災・感電・故障の恐れがあります)

- ※保証の対象外となります。
- ●水などの液体に濡らさないでください。(火災・感電・故障の恐れがあります)
- ●小さな子供のそばでは、本製品の取外しなどの作業をしないでください。
   (飲み込んだりする危険性があります)

#### ■注意:下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。

●取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
 ●次のような場所では使用しないでください。
 ①直射日光の当たる場所
 ②温気や水分のある場所
 ③傾斜のある不安定な場所
 ④静電気の発生する場所
 ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
 ●長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

#### ■お手入れについて

清掃するときは電源を必すお切りください。
 ②機器は柔らかい布で拭いてください。
 ③シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

# 4.取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万一に備えてデータのバックアップをこまめにすることをお勧めします。(切替時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)

# 5.特長

#### ●デスク周りを省スペース化できる

1組のUSBキーボード・USBマウス・DVIディスプレイ・スピーカーで2台のパソコンを切替えて 使用できます。

#### ●ディスプレイエミュレーション機能搭載

ディスプレイのEDIDを読み込み切替器内に情報を保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わったり画面サイズが変わるという問題が発生しません。

#### ●HDCP対応

HDCP対応だから地デジやブルーレイメディアの著作権保護規制がかかった映像も再生できます。

#### ●キーボードエミュレーション機能搭載

キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。

#### ●マウスエミュレーション機能搭載

エミュレーションON時は切替後の素早いマウス操作が可能でスクロールボタン切替も可能。 エミュレーションOFF時は多機能ボタンマウスにも対応させることができます。

# ●ホットキー切替、マウス切替の切替方式に対応

切替方法はホットキー切替([Ctrl]×2 または[ScrollLock]×2)、マウスのスクロールボタン切替、 に対応し瞬時にポートを切替えることができます。※ ※マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要が あります。

### ●スピーカーの独立切替に対応

スピーカーの共有も可能。単独切替にも対応しておりコンソールデバイスとスピーカーは別々に 切替ができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認する ことが可能です。

### ●簡単接続でソフトウェアのインストール不要

ソフトウェアのインストールが不要で接続するだけで切替えて使用することができます。

#### ●ACアダプタ不要

パソコンのUSBポートより電源を供給し動作するためACアダプタが不要です。



	6.仕様		
	対応パソコン	DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタ メス、DVI 24pinディスプレイコネクタを持つ機種)	
	対応キーボード	USB≠−ボ−ド※2·3·4	
	対応マウス	USBマウス※1・4	
	対応ディスプレイ	DVI 24pinメスコネクタを持つディスプレイ	
	対応解像度	解像度1920×1200(@60Hz)(WUXGA)まで表示可能(DDC2B対応)	
	対応スピーカー	3.5mmステレオミニブラグ接続のスピーカー	
-	対応OS	Windows 8.1·8·7·Vista·XP(32/64bit、各Edition対応) Windows Server 2012(R2)、Windows Server2008(R2)、 Windows Server 2003(R2) Mac OS X、Mac OS 9.0以降、Linux(CentOS、uBuntu、OpenSUSE)	
	インターフェース	パソコン側 ディスブレイ: DV!24pinオス×2 キーボード : USB Aコネクタオス×2 マウス : USB Aコネクタオス×2 スピーカー : 3.5mmステレオミニブラグ×2 <コンソール側> ディスブレイ: DV!24pinメス×1 キーボード : USB Aコネクタメス×1 マウス : USB Aコネクタメス×1 スピーカー : 3.5mmステレオミニジャック×1	
	切替方式	マウス切替、ホットキー切替、オートスキャン切替	
	消費電力	動作電圧(USBボートから電源供給):DC+5V 消費電流:620mA(最大)	
	動作時温度·湿度	0~50°C・80%以下(結露なきこと)	
	保管時温度·湿度	−20℃~60℃・80%以下(結露なきこと)	
	サイズ	W78×D114×H26.5mm(本体のみ)	
	重量	470g	
	ケーブル長	0.9m(切替器-パソコン間)	
	付属品	取扱説明書(保証書付き)	

3

# 6.仕様(続き)

※1:マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要があります。
 ※2:キーボードに搭載されているUSBハブボートは本製品経由では使用することはできません。
 キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能についても本製品経由では使用することができません。
 ※3:指紋認証機能付きキーボード、トラックパッド付きキーボードなどでは動作しないことがあります。
 ※4:Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。

#### ご注意

- ●すべてのパソコン・キーボード・マウスの動作を保証するものではありません。
- ●キーボード、マウスにおいてドライバのインストールを要する特殊なボタン、ファンクションキーについては本切替器 経由では動作しないことがあります。
- ●ワンタッチボタンによるレジューム・サスペンド機能は対応しておりません。

# 7.各部の名称・説明



4



# 9.切替方法•操作方法

1.マウスでの切替方法

マウスのスクロールボタンをダブルクリックしてください。 瞬時にパソコン1⇔パソコン2に切替えます。



※マウスのエミュレーション機能が有効の時に可能です。 (初期設定:有効)

マウスエミュレーション機能を無効にするにはP.7「10.切替 器のカスタマイズ」の「3.マウスエミュレーション機能」をご 覧ください。

2.ホットキー(キーボード)切替

ホットキー切替とはキーボードのキー入力でポートを切替える方法です。

下記のキー入力を順に行ってください。(連続して行ってください)

ホットキー	機能
	KVM(キーボード、マウス、ディスプレイ)、オーディオの
[Ctri]→[Ctri]→[Enter]	すべてをパソコン1⇔パソコン2に切替えます。
[Ctrl]→[Ctrl]→[K/k]→[Enter]	KVM(キーボード、マウス、ディスプレイ)のみを次のポートに
	切替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Ctrl]→[Ctrl]→[S/s]→[Enter]	オーディオポートのみを次のポートに切替えます。

# 3.オートスキャン切替

オートスキャン切替は、一定間隔で自動的にポートを切替える方法です。

毎回手動で切替操作することなく、自動的に切替わるので接続されたパソコンの稼働状況などを モニタリングするのに最適です。ホットキー操作については下表をご参照ください。

ホットキー	機能
Ctrl) ~ [Ctrl] ~ [A] ~ [Entor]	オートスキャンモードを有効にします。KVMコントロー
	ルが5秒間隔で切替わります。(初期設定)
	オートスキャン実行中にフルキー側の【1】~【4】を押す
	ことでオートスキャン切替の秒間隔を指定できます。
$[Ctrl] \rightarrow [Ctrl] \rightarrow [\Delta] \rightarrow [Enter] \rightarrow [1] \sim [4]$	【1】…3秒間隔
	【2】…5秒間隔(初期設定)
	【3】…10秒間隔
	【4】…20秒間隔

※オートスキャン有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード入力は無効になります。
※オートスキャンモードを終了するには、【Esc】または【スペース】キーを押してください。
オートスキャンが終了します。

6

# 10.切替器のカスタマイズ

# 1.ホットキーの変更

ポート切替などに使用する[Ctrl]キーがパソコンで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合 にそなえ、【ScrLock】キーに変更することもできます。設定変更には以下の操作を行ってください。

ホットキー	機能
	【Ctrl】【Ctrl】のキーを【ScrLock】【ScrLock】キーに変更します。
	元に戻す場合:[ScrLock]→[ScrLock]→[X/x]→[Enter]
[Ctrl]→[Ctrl]→[X/x]→[Enter]	※ホットキーを【ScrLock】【ScrLock】に変更時には本取扱説明書
	に掲載する全ての【Ctrl】【Ctrl】キーを【ScrLock】【ScrLock】
	キーに置き換えてホットキーをご利用ください。

# 2.ディスプレイエミュレーション機能

本製品はKVMスイッチに接続されたディスプレイのメーカー名やディスプレイに関する情報を読み 込み、記憶するディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。この機能を利用する場合は以 下の手順で操作を行ってください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[D/d]→[Enter]	ディスプレイエミュレーション機能を使用し、
	KVMスイッチ内にディスプレイ情報を記憶します。

## 3.マウスエミュレーション機能

本製品は初期設定でマウスエミュレーション機能が有効になっています。マウスエミュレーション機能が有効になると切替器のポート切替後、即マウスが反応し操作が可能になります。ただし、特殊な ドライバを要するマウスは信号をエミュレーションできないため使用できません。

特殊なドライバを要するマウス(ボタンの割付が可能なマウスやカードリーダー搭載マウスなど)を 使用する場合はマウスエミュレーション機能を無効にしてください。USBマウスポートがバイパス状 態となり、接続する全てのUSBマウスが使用できるようになります。ただしポートの切替時に毎回接 続・認識を行うためマウス動作開始まで数秒間のタイムラグが発生します。

ご使用になられるマウス環境により、マウスエミュレーション機能を有効/無効にしてください。 以下の手順で操作を行ってください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[M/m]→[Enter]	マウスエミュレーション機能を有効または無効にします。 (初期設定:有効)

# 10.切替器のカスタマイズ(続き)

### 4.マウス切替機能の有効/無効

本製品はマウスエミュレーション機能が有効の場合、スクロールボタンのダブルクリックでポートを 切替えるマウス切替機能を搭載しています。初期設定ではマウス切替機能は有効ですが、設定によ り無効にすることもできます。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[W/w]→[Enter]	マウス切替機能を有効または無効にします。 (初期設定:有効)

### 5.使用キーボードの設定

本製品はWindows、Macの混在環境でも使用することができ、Windowsキーボード、Macキーボ ードのどちらでもご使用いただけます。ただし、Macキーボードの一部のキー([Eject]キーや[ボリ ューム]キー)がWindowsキーボードには設定がないため使用することができません。また WindowsキーボードでMacを操作する場合にも、一部のキーが使用できません。 切替器本体のOS設定をすることでWindowsキーボードでMacを操作することができるようになります。 ※切替器のOS設定をしなくても基本的なキーボード操作は可能です。(文字入力など) ※切替器は各ポートごとにOS設定が可能です。(ポート1はWindows、ポート2はMacなど)

※アプリケーションソフトなどをインストールする必要のあるキーボードは一部のキーが反応しない ことがあります。

### パソコン・キーボード対応表

	Windows	Мас
Windowsキーボード	対応	キーボードマッピング(次ページ)参照
Macキーボード	基本入力のみ	対応

※接続するパソコンのOSとKVMのOS設定(ポートごとに)を同じにすることで 上記対応が可能になります。

### OS設定方法

ホットキー	機能
	KVMのOS設定をMacにします。Windowsキーボードで
[Ctrl]→[Ctrl]→[F2]→[Enter]	Macを操作する場合、この設定にしてください。
[Ctrl]→[Ctrl]→[F10]→[Enter]	KVMのOS設定をWindowsにします。Macキーボードで
	Windowsを操作する場合、この設定にしてください。

※以上の操作で切替器のOS設定は変更されます。これらの操作は一度設定すれば次回起動時 からは必要ありません。使用環境が変わった場合は再度変更してください。

# 10.切替器のカスタマイズ(続き)

### キーボードマッピング表

Macキーボード	Windowsキーボード
左[Shift] or 右[Shift]	左[Shift] or 右[Shift]
左[Ctrl] or 右[Ctrl]	左[Ctrl] or 右[Ctrl]
${\mathscr H}$ (Mac command)	🖽 (Windows command)
左[Alt(option)] or 右[Alt(option)]	左[Alt]or 右[Alt]
F13	[Print Screen]
F14	[Scroll Lock]
F15	左[Ctrl]、[Win] or 右[Ctrl]、[Win]
=	[Application]
🔺 Eject	左[Ctrl]、[4] or 右[Ctrl]、[4]
<ul> <li>Mute</li> </ul>	左[Ctrl]、[1] or 右[Ctrl]、[1]
■ V_DN	左[Ctrl]、[2] or 右[Ctrl]、[2]
<b>■</b> 》V_UP	左[Ctrl]、[3] or 右[Ctrl]、[3]
Return	[Enter]
Delete	[Back Space]

### 6.現在の設定情報を確認する

現在の各エミュレーションの有効/無効状況、KVMのOS設定状況などを確認できます。 メモ帳やテキストを開いた状態にしてから下記手順を行ってください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[F4]→[Enter]	メモ帳やテキストに現在の各設定状況をリストアップします。

### 7.USBポートのリセット

USBマウスポートが反応しなくなった場合、USBポートのリセットをすることで再認識させることができます。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[F5]→[Enter]	USBポートのリセットを行います。

#### 8.全ての設定を初期設定に戻す

USB各エミュレーション設定やOS設定状況を全て工場出荷時の初期設定に戻します。

	ホットキー	機能
	[Ctrl]→[Ctrl]→[R]→[Enter]	工場出荷時の初期設定にリセットします。

# 11.トラブルシューティング

- Q1)指紋認証機能付きマウス、多機能ボタンマウスに対応していますか?
- A1)マウス接続ポートは初期設定でマウスエミュレーション機能が有効になっています。5ボタンマウスまでは初期設定のままでも使用できますが、特殊なドライバを要するボタンや指紋認証機能付きマウスなどは対応しておりません。マウスエミュレーション機能を無効にすることでマウスポートがバイパスになり、対応することができますが、消費電力の高いデバイスについては動作しないことがありますのでご注意ください。

Q2)ワンタッチボタン機能などを搭載したキーボードでワンタッチボタン機能が使用できない。 A2)ワンタッチボタン機能など、ドライバのインストールを要する機能についてはサポートしておりません。

Q3)ディスプレイの解像度を設定しても切替えると初期値に戻ってしまう。

A3)本製品はディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。ホットキー操作によりディスプレイ のEDID(識別情報)をKVM内に記憶させてから再度お試しください。

Q4)キーボードが認識しない。(動作しない。切替操作もできない)

A4)他のキーボードでも接続をお試しいただける場合はお試しください。また他のパソコンでも試 せる場合はお試しください。特定のキーボード・パソコンでのみ発生する症状の場合、製品の相性 問題の可能性があります。

Q5)スプリッターケーブルを使用してKVMと接続し使用できますか? A5)本製品はスプリッターケーブルを使用した接続には対応しておりません。

## 免責

●本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

- ●本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
  ●本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房
- ●本製品を水力や湿丸の多い場所、直射日元ののにる場所、ホコリや油煙などの多い場所、単中や開 器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。
- 品具のとはなどの同価となる物がに設置したり休日したりしないとくたとい

# 保証規定

1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で 無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。 ①保証書をご提示いただけない場合。 ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。 ③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。 ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。 ⑥天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。 ⑥譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機 器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社は いかなる責任も負いかねます。 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。